

第4回 DR Choiの上下眼瞼形成術ソウル LiveSurgery2症例 (+SHIMMIANクリニック訪問)

2年ぶりのライブ供覧で、山本美容整形塾の復習(1月)・予習(7月)のために熱血指導
1万症例から見出した結論Return to basic! 眼瞼下垂修正の切開重瞼(目頭切開)と下眼瞼形成(経結膜
脱脂+最少皮膚切除)の基礎スキルを徹底検証する(日韓の美容整形術を実践・熟知するDR中間が日韓通訳)
2016年3月12日(土) - 13日(日) 韓国ソウル江南



韓国・アジアにとどまらず欧米にまで評価される! Dr Choiの上下眼瞼の術式決定から手術細部、術中～術後の経時変化の予知までを講義とライブ供覧で(先天性・後天性下垂の見分け方・左右非対称やデカ目、兎眼にならない手技など) 韓国のみならずアジアそして欧米にまでその名声が広がるChoi医師。テクニックもさることながら、日本的な繊細で美しい眼瞼美容形成術が特長だ。JAASアカデミーとして今回が4回目を数えるソウル現地ライブ供覧だが、1万症例を超えさまざまな修正もこなしてきたChoi医師だからこそ、眼瞼美容形成は基本に立ち返ることが大事だという。とりわけ手技の基本となる眼瞼下垂の挙筋腱膜の同定やミュラー筋の短縮などを供覧した日本の医師からは感嘆の声があがるほどだ。また上眼瞼オペでは術前診断に時として難渋することもあるがChoi医師は、下垂修正の併用が必要な場合と、切開重瞼単独で手術を行うケースあるいは先天性か後天性の下垂かを的確に見極める手立てと鑑別法を熟知する。そうしたポイントをパターンシミュレーションとして講義とLive Surgeryを通じて伝授してもらおう。

BlepharoptosisとTransconjunctival Lower Blepharoplastyを日韓の共通点、相違点を観察。ハムラ法を避ける理由とLateral Canthoplastyの落とし穴についても投げかける Cosmetic Surgery of the Asian Face第3巻の執筆陣にも選ばれたChoi医師、JAASアカデミーで始まる「技能認定医制度」の審査医としても肝入りで迎えることが決定した。そんなChoi医師の術式を日本の手術とどう違うのか? また共通点はどこか? など観察できるまたとない機会となる。さらに、Lower Blepharoplastyではハムラ法ではなく経結膜と最少切開による脂肪除去をもっぱら多用する。また目尻切開は三白眼や兎目になるリスクが大きいとしてあくまで「リカバリーできるベーシックなオペをする」ことからハムラ法は取り入れていない。こうしたChoi医師の眼瞼形成術についての考えとその理論を、中間医師が日韓通訳を通じてディスカッションしていく。ライブ講習がとすると通訳者のみの解説でなかなか日本の医師に「手術の肝」が伝わらないことは少なくない。しかし韓国中央大医学部で学び、韓国・日本双方の美容形成術を実践、熟知する中間医師によってこの欠点をカバーすることにもなる。

鼻形成・顔面輪郭術に特化するSHIMMIANクリニックを訪問12日(土) 夕刻 本ライブ講習会では恒例のボーナス企画も用意した。それが中国はじめアジアからも大勢の患者が押し寄せる心美眼鼻整形医院SHIMMIAN PHINOPLASTY CLINICへの訪問だ。アジアの新興国からの若き美容外科医も技術研修で訪れるここでは、院長であるDong-HAak-Jung医師が鼻形成を中心に丁寧な指導をしてくれることでも知られており、この訪問をきっかけに鼻形成、顔面輪郭形成など韓国ならではの手術を研修する足がかりとしてほしい。

3月12日(土) プログラム

- ◎ 空港集合 PM3:00 ソウル金浦空港集合 (それぞれ送迎車にて PM3:30 ソウル仁川空港集合 (SHIMMIAN Phinoplasty Clinicへ))
- ◎ PM4:30~5:30 SHIMMIAN施設見学およびJung院長と交流
- ◎ PM5:30 ソウル江南区 Imperial Palace Hotel (4星) チェックイン
- ◎ PM6:00 ホテルから送迎車にてLecture会場 (TOZ CENTER江南) へ
- ◎ PM6:30~8:30 **Dr Choi Lecture及び動画解説 講義編**
「①日本・韓国・欧米人のデザインから提案する眼瞼形成術と解剖の基礎 ②上眼瞼下垂修正と切開重瞼術(ミニ切開法)、目頭切開~症例からみる所見の考え方と、それぞれの適用 ③下眼瞼脱脂術と皮膚切除の併用術 ④先天性・後天性下垂の見分け方、左右非対称・三白眼・兎目とその修正法 ⑤動画解説」
Myoung Eye Plastic Surgery院長 Choi Woon Chul MD
テクニカルアドバイザー・日韓通訳/筑紫ロクリニック院長 (JAAS理事) 中間 健MD
- ◎ PM8:30~ DR Choiを交えてのWelcome Party (本場チャドルベギ店)

3月13日(日) プログラム

- ◎ AM8:00 朝食後 ホテルチェックアウト 送迎車にてMyoungクリニックへ

◎ AM9:00~PM12:00 **Dr Choi Live Surgery (1) Myoung EyeSurgeryクリニック**

- 「Dr Choiの眼瞼下垂・目頭切開Live供覧 Dr中間から解説をしながら指導」
Myoung Eye Plastic Surgery院長 Choi Woon Chul MD
テクニカルアドバイザー・日韓通訳/筑紫ロクリニック院長 (JAAS理事) 中間 健MD 患者 (A)

オペ室にモニター設置 ライブ直視Gとモニター供覧G 同時観察

◎ PM12:00~1:00 昼食 (本場コムタンスープ店・休憩)

◎ PM1:00~2:30 **Dr Choi Live Surgery (2) Myoung EyeSurgeryクリニック**

- 「Dr Choiの Transconjunctival Lower Blepharoplasty+皮膚切除 Live供覧 Dr中間から解説をしながら指導」
Myoung Eye Plastic Surgery院長 Choi Woon Chul MD
テクニカルアドバイザー・日韓通訳/筑紫ロクリニック院長 (JAAS理事) 中間 健MD 患者 (B)

オペ室にモニター設置 ライブ直視Gとモニター供覧G 同時観察

◎ PM2:30~3:00 **Dr Choi 終了認定授与と記念写真**

- Myoung Eye Plastic Surgery院長 Choi Woon Chul MD
テクニカルアドバイザー・日韓通訳/筑紫ロクリニック院長 (JAAS理事) 中間 健MD
- ◎ PM3:00 クリニック出発 金浦空港、仁川空港へそれぞれ送迎 解散

第4回 DR Choiの上下眼瞼形成術ソウル LiveSurgery2症例 (+SHIMMIANクリニック訪問)

1万症例から見出した結論Return to basic! 眼瞼下垂修正の切開重瞼(目頭切開)と下眼瞼形成(経結膜脱脂+最少皮膚切除)の基礎スキルを徹底検証する(日韓の美容整形術を实践・熟知するDR中間が日韓通訳)

2016年3月12日(土) - 13日(日) 韓国ソウル江南

非会員でも受講可
JAAS会員の認定医履修単位5単位も授与

手術撮影モニターSurgi Armを設置し、眼瞼形成のマイクロサージェリーをライブと同時に供覧

1回受講で修了

3月12日(土) - 13日(日)

第4回 DR Choiの上下眼瞼形成術
ソウル LiveSurgery2症例

韓国ソウル江南
Myoung Eye Plastic Surgery



修了証



【Woog C Choi MD, PhDプロフィール】

87年 韓国ソウル医科大学の名門であるカトリック医科大学を卒業。同年ソウルのSt. Mary病院に研修医として着任。翌年から4年間、国民総徴兵制により韓国陸軍の従軍医として赴任する。その後2002年までカトリック医科大学の勤務医として働き、同時に医学博士を取得する。同年度には後に、2004年まで助教職を務め、2005年には日本の浜松聖隷病院にて研修医として赴任した。帰国後、さらに1年間、米国ユタ州立大の眼科センターで研修医として赴任、帰国後に現在のMyoung Eye Plastic Surgeryを開業する。2013年、開業10年目を契機に江南区内にクリニックを移転拡張した。クリニックの傍ら、現在でも母校カトリック医科大学の外来教授として診察を行いながら、後継の指導にも尽力している。Choi医師は眼科関連の医学会のボードメンバーとしての重責を果たす一方、韓国政府が推進する「海外からの若手美容整形医を招く」ため、国内では著名な医師でもある。眼瞼美容形成においてはその症例数の多さと高い技術に定評があり、美容形成のみならずOculoplastyの世界でも招聘講演を国内外から受けるほどで、Choi医師のテクニックを学ぶ若手美容形成も少なくない。2016年発行のCosmetic Surgery of the Asian Face第3巻の執筆者でもあり、JAAS日本アンチエイジング外科・美容再生研究会の海外顧問兼「技能認定医制度」の審査医にも入る。

スキルの高さ、人柄、人望どれをとっても一級品!と誰もが認めるChoi医師。2010年からJAASの年次総会を兼ねたライブフォーラムで招聘講演をして以来、JAASアカデミーでは「山本美容整形塾」にまで出向いてもらい講義とライブコメンテーター役をお願いしながら、場所を韓国に移してChoi医師のライブ供覧を検証するという流れをつくってきた。そして2016年3月、2年ぶりとなるソウルでのライブ講習会が開催される。第6期を迎える「山本美容整形塾」ライブ講習会で1月上眼瞼形成、7月下眼瞼形成のちょうど中間にあたるこの3月に開催されるため、山本塾の塾生にとっては復習、予習をかねたライブ供覧となることは間違いない。Dr.Choiは日本眼科学会や欧米の眼科学会から招待講演の依頼を受けるほどのOculoplastyでも有名な医師であるが、眼瞼美容形成でもアジアはじめ世界からも評価は高い。1万症例をこえる眼瞼形成術をこなしてきたその経験値ゆえだろうか、ありとあらゆるケーススタディに遭遇し、「奥が深い」と言われる眼瞼手術を極め続けている。そのChoi医師が深く心に刻む指針は「Return to basic!」で、シンプルかつ丁寧でリカバリーできる手術スキルを求め続ける。そして術後の経過を長期間にわたり診つづけることが大事だと話し、一人の患者を末永く見守り続ける姿勢は多くの美容医が見習う手本といえよう。

スキル、人柄、人望とも一級品!
奥の深い眼瞼形成術にあつて「基本にかえる」がオベ上達の極意(Choi医師)

自称「大の親日家」といってはばからず、JAASとの友好関係は太いさずで結ばれており、海外顧問として「技能認定医制度」の審査医を快く引き受けてくれている。同医師、とりわけ日・韓・中・蒙の歴史と民族の系譜について詳しく、その顔立ちの特徴についても自らの整容術に生かしているようだ。さて、韓国でも上下眼瞼の手術は、患者のニーズも高く、治療機会も多い。しかし、同時にトラブルがこれに付随して増加傾向にあるというの否めない現実で、そこで今回も前回(2014年)に引き続き『失敗から成功を学ぶ』という事をテーマに置き、他院でのトラブル症例にも講義で言及していただきながら手術供覧が行われる。手術の適応の考え方からデザインの書き方に始まり、同行する中間医師の通訳、解説とともに見学することは、参加者にとって大いなるプラスとなるであろう。症例は、上眼瞼では、下垂症例の切開重瞼術、目頭切開に加え下眼瞼では、経結膜脱脂と皮膚切除を併用した最小限侵襲手術を供覧する。

韓国美容外科手術のイメージとしては、ダイナミックな手法が多いと考えられている先生方もおられるかもしれない。しかし、Dr. Choiの手術は、前回の講習会でも明らかとなりに、非常に繊細であり、眼瞼下垂の挙筋腱膜の同定やミュラー筋の短縮等の手術手技が、大いに参考になったことは、記憶に新しい。また、上眼瞼手術では、術前診断に時として難渋することもあるが、眼瞼下垂手術の併用が必要な場合と切開重瞼術単独で十分な場合の見極め方等についても再度教授していただく予定である。また、先天性・後天性の下垂症例の見分け方や術中でわかる術後の下垂修正の予知、予想さらには、「ハムラ法」を避ける技術的な理由、さらには目尻切開によるトラブル症例を出していただきながら、この手術の落とし穴についても言及してもらう。

Choi医師のライブ講習会では毎回、いち早く定員となることが少なくないため、参加できずに残念な思いをされた方も多かったのではないだろうか。今回も早期締め切りが予想されるため、今年とは考えられている先生方には、是非とも参加していただきたい。

【Dong-Hak, Jung MD, PhDプロフィール】

SHIMMIAN Phinoplasty Clinicの総院長で、鼻形成で一日の長があることで知られる。海外からの美容医療ツーリズムの誘惑をいち早く感じ、中国はじめ中近東や日本からも治療のためにSHIMMIANを来院する患者は多い。ホームページは多国籍の言語で紹介され(<http://www.nose.co.kr/eng/>)ている。鼻形成はもちろん、眼瞼形成や顔面輪郭形成など治療メニューは多岐に及ぶが、最も評価をあげたのが鼻形成でその執刀医がJung院長であることはいうまでもない。患者の誘致に力を入れる一方で、新興国からの若手美容整形医を向かい入れ、数週間、数か月の研修指導をしていることでも知られており、このクリニックで学んだ後、自国の美容クリニックで活躍する医師も少なくない。

【中間 健MDプロフィール】

略歴をみれば一目瞭然、異色の医師といつていい。九大工学部で宇宙工学を学ぶも一転、アフリカの医療支援へとその志はかわり従事するなかで、医師の道をめざす。そして韓国中央大(医)に入学。医師免許取得後、腎臓移植専門医として関連病院で数多くの移植手術に関わる。やがて日本に帰国後、東京医大に編入。国内での移植症例数の少なさを麻酔科に入局。日本の医師免許も取得したが、その後、美容医療に関心をもち、国内外数多くの美容形成クリニックに「武者修行」に出た後、池袋、青山さらに金沢などでクリニックを開業し、持ち前のスキルセンスと知識、経験から患者に高い評判を得る。最新美容医療の情報をいち早くキャッチし、今でも単身海外に出向くバイタリティは健在である。日本、韓国、オーストラリアと3か国の医師免許を取得し、韓国での医学部生時代、そのカリキュラムにおいて解剖学の知識、実習を徹底的に修学したことから、美容医療で求められる解剖学として治療スキルには熟知。ハンク語はバイリンガルの上、医学的要素が強い美容形成の日韓通訳には定評がある。幹細胞・美容形成 筑業クリニック院長 (JAAS理事)

修了医師には2010年第1回目のDr. Choi現地ライブ講習(上下眼瞼形成)の収録DVDを進呈します。映像は稀にみる接写映像とクリアさで編集されています。

過去3回のDr. Choiライブ講習会のレポートはJAASアカデミーアーカイブ <http://www.jaas-academy.com/> をご覧ください



- 受講対象 ■美容整形・皮膚科、形成・整形外科、眼科、内科・婦人科系の医師 (JAAS会員・非会員問わずすべて対象)
- 資格取得 ■2日間受講のみでDR Choiより修了証授与 (JAAS認定医資格の履修単位5単位重複授与)
- 定員・参加費用 ■定員限定15名/226,800円(税込)、DR山本シリーズ受講経験者は216,000円(税込)
参加費用にはホテル代、送迎代、日曜夕食、月曜朝食、昼食、レクチャー・ライブに関わる経費、指導費、アドバイザー、通訳代を含みます。ただし飛行機代は各自負担となります
- フ ラ イ ト ■東京羽田・成田、大阪関空、名古屋中部国際、福岡の国際線空港についてお知らせします
◎本ミッション団の集合は12日土曜日PM3時(金浦空港)PM3時30分(仁川空港)となり、それぞれ空港から送迎車で市内に向かいます。また13日曜日はPM3時終了後に金浦空港、仁川空港へそれぞれ送迎車にてお送りします。講習プログラムに支障をきたさない4都市と金浦空港・仁川空港間のフライトは、東京羽田・金浦は3便、成田・仁川は2便、関空・仁川は1便、中部・仁川は1便、福岡・仁川は1便飛んでいます。
- 受講修了者の特典 ■修了者には2010年に実施したDr. Choi現地ライブ講習会(上下眼瞼形成)の収録DVDを進呈します。
- 主 催: JAASアカデミー 東京都中央区新富1-8-11-3F tel 03-6222-3121
- 後 援: 一般社団法人 JAAS日本アンチエイジング外科・美容再生研究会
- 協 力: 韓国ソウルMyoung Eye Plastic Surgery

参加登録 <<お申込書>> JAAS事務局 FAX 03-6222-3125

お申込者には御請求書を発行・事前登録制のため、お早めのご入金をお願いいたします。

お名前	病院・施設名	電話	
		FAX	
ご住所			
<p>■ 3月12日(土) 13日(日) 《定員: 限定15名》</p>		<p>226,800円(税込) × 名 = 円 山本シリーズ受講者 216,000円(税込) × 名 = 円</p>	<p>※お申込後、ご入金後のキャンセルはご遠慮ください。</p>